



[狭山市広報]
VOL.347



ニ神像は隨身門の左右に安置された神域を守る神で、極彩色が施されています

広報 お知らせ版



隨身門は神域を区画する目的で建てられたもので、寺院の仁王門と同じ性格を持っています。単層入母屋造りの八脚門で、江戸時代後期の建築と考えられています

狭山の四季・イベントいろいろ	2 ~ 5
狭山市環境方針	6
障害者への手帳の制度	7
CLIP-1(お知らせ・スポーツ・レクリエーション・募集)	8 ~ 9
CLIP-2(児童館だより・消費者ホット情報・公民館・集会所)	10 ~ 11
CLIP-3(博物館・図書館案内・ご参加を・植物園・お礼・市民会館・その他のお知らせ)	12 ~ 13
相談案内・保育情報あれこれ	14
市民情報(イベント)	15

100再生紙を使用

2000 May
5/25

【今月の表紙】堀兼神社の隨身門と二神像(いずれも市指定文化財)